

第3学年C組

1 学級経営目標

- 互いを認め合い、他の意見を受容することができる。
- ルールを踏まえ、全員にとってよりよい結論を、自分たちで導き出すことができる。
- 一人一人が楽しいとすることができる。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

㊦しちゅういち ㊦ながる ㊦ころやさしい ㊦りっぱな C組

3 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	○見通しをもって計画的に学習することができる。	・学習計画表などの活用を通して、計画の立て方を指導する。 ・面談や学活、総合などを通して、PDCAサイクルについて指導し、面談で進捗状況を確認する。
道徳教育	○自分の考えを持ち、伝えることができる。 ○互いの意見や考え方が異なることを受容し、認め合うことができる。	・一人で考えたり、取り組む時間と、意見を伝え合う場を設ける。伝え方や議論の仕方などを具体的に指導する。 ・意見交流の場で、理由や根拠を述べることを大切に、異なる意見の背景に何があるのか考えさせる。
キャリア教育 (進路学習)	○自分の将来を考え、自分で進路を決める。 ○自己理解を深める。	・進路学習を通して、将来の生き方を深く考え、本人と保護者がともに納得できる進路選択の支援をする。 ・自己を見つめる時間を設けたり、ワークシートを用いて自己理解を図る。
生活指導	○規範意識を高める。 ○思いやりの心の醸成。	・明確に示されたルールを主体的に遵守し、互いに声をかけ合うように指導する。 ・自分と他者の違いを認め、協力し合っ、相互補完できるように指導する。
特別活動	○自己有用感と自己肯定感を育む。	・当番活動や係活動、委員会活動などを通して、クラスや学年で自分自身が役に立っていると実感できる場面を設ける。
保護者との連携	○各家庭と学級の役割を明確にし、多面的な生徒指導をする。	・学校からの連絡は悪い報告という印象をなくし、良いことも悪いことも連絡報告をする。また、ご家庭と確認、相談しながら、よりよい指導を行っていく。